

公正価値測定の論点整理について

1. 国際的な会計基準の動向

(1) IASB の公正価値測定プロジェクト

- 5/28ED 公表、コメント期間 120 日（9/28 コメント締切）
- 2009 年 4Q（10～12 月）にラウンド・テーブル（RT）を予定
- 2010 年上半期に最終基準化予定
- 6 月又は 7 月に「負債測定における信用リスクの問題に関するディスカッション・ペーパー」を公表予定

(2) FASB のプロジェクト

- ① 資産又は負債に係る取引量及び取引水準が著しく低下した場合の公正価値の決定及び秩序ある取引ではない場合の識別（4 月に FSP 公表済み）
- ② オルタナティブ投資の公正価値（2Q 末まで）
- ③ 公正価値測定の開示の改善（年末の財務報告に間に合うように改善）
- ④ 負債の公正価値測定（2Q 末まで）

(3) FCAG（金融危機諮問グループ）（IASB/FASB）

- 2008 年 12 月に公表された米国経済安定化法に基づく SEC 報告書への対応や G20 への対応を含む
- 7 月に報告書を取りまとめる予定

2. ASBJ における検討日程について

- 専門委員会、委員会における検討スケジュール案

専門委員会日程	委員会日程	主な審議事項
5/28（木）（済）	6/4（木）	【論点 1】の「今後の方向性」
6/10（水）	6/19（金）	【論点 2】、【論点 3】の「今後の方向性」
6/24（水）	7/2（木）	IASB の ED の内容を論点整理に反映
7 月（未定）	7/16（木）	
	8/4（火）	公表議決予定（コメント期限は 9 月末を念頭）

- 9 月に IASB の ED に対するコメント提出

<今後の検討スケジュール>

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2010 上
IASB	ED				締切	RT			IFRS
ASBJ				DP	締切				

3. 文案を作成するにあたって

- 12/4に開催された企業会計基準委員会で提示した資料（「目的」、「背景」、「論点整理を行う範囲」などが記載されている）に、12/24、1/28、2/25に開催された専門委員会で検討を行った資料（FVMに関する各論点の概要）を加えて、これを文案の原型とした。
- その上で、これまで「検討のポイント」として議論していた部分を「今後の方向性」に改め、過去3回の専門委員会での議論の内容（参考資料 参照）を適宜反映。
- なお、「今後の方向性」を策定するにあたっては、我が国における「時価」の考え方と国際的な会計基準における「公正価値」の考え方に大きな差異はないとの認識のもと、基本的に国際的な会計基準の内容及び動向を踏襲することを前提としている。
- 文案のうち「国際的な会計基準における取扱い及び動向」については、大きな修正を加えていないが、5/28に公表されたIASBのEDの内容を踏まえ、今後加筆修正を行う予定。

以 上